

平成 27 年 11 月 17 日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

● 学校給食共同調理場について ●

～内容～

学校給食共同調理場の建て替えについて、当初の計画から遅れている現在の状況を調査するもの。

～質疑～

問：計画どおり進んでいない一番の原因、理由は何か。
答：マンパワーの不足である。教育委員会に専任の職員配置を要請しているが、配置されない。
問：財源として合併特例債を充てるのであれば、平成 31 年度までしかない。計画どおり進まない理由がマンパワーの不足であるのなら、早急に組織の立て直し、強固な組織づくりをすすめるべきだがどうか。
答：市長部局と教育委員会がよく相談しながら、積極的に話し合いをし、建て替えに向けて前進していく。
問：候補地はどこか。
答：市内数箇所の候補地を選定し、用地費、搬送時間、周辺環境の影響等を総合的に判断して川西地区を第 1 候補地と考えている。
問：防災の観点からいうと川西地区ではなく川東地区が適地と思う。防災の視点でも候補地を検討しているか。候補地の中で用地費が安いから川西地区なのか。
答：防災面についても教育委員会の中では検討している。第 1 候補地としたのは、用地費だけではない。新総社大橋が完成すれば、交通の利便性が上がり市内全域に時間内に搬送できること、まとまった土地が確保できること等を総合的に判断した。
問：アレルギーのある子どもたちへの対策は、どのように考えているか。
答：現在は、乳と卵について除去食をしているが、新しい調理場ではアレルギー室を設けて、国が示しているアレルギー対応品目の 7 品目ぐらいはやっていきたい。

～自由討議での委員からの意見～

意見：川西地区の候補地は一時水が出たときに農地が調整池の代わりになることを尊重すれば、建設用地としてはふさわしくない。

意見：市街化区域の人口密集地に近い調整区域で、ほ場整備ができていない地域が建設用地として妥当だと思う。

意見：防災の観点からすると川東地区がいいと思う。

意見：搬送計画から考えると、新総社大橋もできて交通の利便性が上がれば、他の候補地よりも川西地区が一番いいと思う。

意見：住宅密集地だと臭いの問題対策に大変だと思う。

意見：極論を言えばどこの地域であれ集中豪雨はあり、大都会でも水はけの悪いところはある。川西地区が第1候補地でも問題ない。